るもい地域 いきものMAP

野鳥観察ルート 18P

1 タンチョウ(サロベツ原野)
2 ウトウ(天売島周辺)
3 ケイマフリ(天売島周辺)
4 ウミガラス(オロロン鳥)(天売島周辺)
5 クマゲラ(朱鞠内湖周辺)
6 フクロウ(るもい地域全域)
7 オジロワシ(るもい地域全域)
8 オオワシ(るもい地域全域)
9 オオハクチョウ(るもい地域全域)
10 カワセミ(るもい地域全域)
A 旭川市旭山動物園(旭川市)

いきものルート 19P

11 エゾモモンガ(遠別町)
12 羊(焼尻島)
13 三毛別熊事件復元地(苫前町)
14 エゾヒメギフチョウ(増毛町)
15 サケ(るもい地域全域)
16 エゾシカ(るもい地域全域)
17 エゾユキウサギ(るもい地域全域)
18 エゾタヌキ(るもい地域全域)
19 エゾリス(るもい地域全域)
20 キタキツネ(るもい地域全域)
B 稚内市立ノシャップ寒流水族館(稚内市)
C ほろのべトナカイ観光牧場(幌延町)
D 美深チョウザメ館(美深町)
E 札幌市円山動物園(札幌市)

探鳥・自然ツアールート 20P

21 北海道海鳥センター(羽幌町)
22 海の宇宙館(天売島)
23 ウトウナイトガイド(天売島)
24 海鳥繁殖地ガイドツアー(天売島)
25 天売島漁船クルーズ(天売島)
26 天売島海鳥ボートウォッチング(天売島)
27 ゲストハウス天宇礼(天売島)
28 焼尻ゲストハウスやすんでけ(焼尻島)

愛のルート 21P

29 天売島・焼尻島(羽幌町)
30 観音岬(天売島)
31 赤岩・屏風岩(天売島)
32 ケイマフリの口中(天売島)
33 歓喜の木(焼尻島)
34 夫婦愛の鐘(苫前町)
35 臼谷漁港(小平町)
36 JR留萌駅(留萌市)
37 千望台(留萌市)
38 厚田公園展望台(石狩市)

鳥たちの楽園、るもい地域

春から夏に繁殖のために訪れるノゴマなどの夏鳥、越冬のため飛来するオオワシなどの冬鳥、渡りの途中に一時的に羽を休めるヤツガシラなどの旅鳥、一年中同じ地域に留まるシジュウカラなどの留鳥。るもい地域では、いつでも魅力ある鳥たちに出会うことができる。情報収集は下記の施設へ。

ルリビタキ 春夏秋

ベニマシコ 春夏秋

ツルシギ 春秋

セイタカシギ 春秋

イソヒヨドリ 春夏秋

アオバト 春夏秋

マガン 春秋

クロガモ 秋冬春

チゴハヤブサ 春夏秋

コチドリ 春夏秋

アトリ 春秋

ヤマシギ 春夏秋

ノビタキ 春夏秋

ツメナガセキレイ 春夏秋

コムクドリ 春夏秋

■ 北海道海鳥センター
羽幌町北6条1丁目 TEL.0164-69-2080
■ サロベツ湿原センター
豊富町上サロベツ8662 TEL.0162-82-3232
■ 天売島ビジターセンター「海の宇宙館」
羽幌町天売弁天40 TEL.090-4876-9001(10~4月休館)

写真提供／北海道海鳥センター

春夏秋冬 は、観察できるおもな季節を示す

Rumoi Area × Animals Journey

るもい地域 いきもの旅

四季折々、豊かな表情を魅せる雄大な自然があふれているるもい地域。
るもい地域は海鳥や渡り鳥の世界的宝庫だ。
それはこの地に離島、草原、湿原、森林などの多様な環境が豊かなまま残されている証だ。

ケイマフリ 撮影／寺沢孝毅

世界が注目する繁殖地 海鳥が集うるもい地域

雄大な北の大地・北海道には数多くの生き物たちが生息している。内陸のヒグマ、クロテン、キタキツネなどや、海域のトド、ゴマフアザラシ、シャチ、ミンククジラなどがその代表だ。これら哺乳類だけでも北海道には在来種として50種以上が生息し、そのほぼすべてをエリアで見ることができる。

それとは比較にならないのが鳥類で、北海道で471種(北海道鳥類目録・改訂4版)が記録され、るもい地域では300種以上が記録されていて国内でも特筆すべき探鳥エリアだ。サロベツ原野に広がる湿地や草原は、国内ではそこでしか繁殖しない水鳥の貴重なオアシスであり、春と秋には北極圏と日本などを行き来するガン・カモ類の中継地点となる。また、天売島は8種類100万羽の海鳥繁殖地で、世界的に希少なケイマフリの国内最大の繁殖地、40万つがいが繁殖するウトウの世界最大の繁殖地だ。一時は絶滅に瀕したウミガラス(オロロン鳥)も個体数が微増し、保護の成果が上がりつつある。これら離島も渡り鳥の貴重な休憩地で、天売島だけで珍鳥を含む約300種の野鳥が見られ、多くのバードウォッチャーが訪れる。

Rumoi Area × Animals Journey
野鳥観察ルート

数々の野鳥が集まる重要空路

野鳥全般に目を向けると、海岸沿いでは、オオワシやオジロワシ、サロベツ原野の湿地で羽を休めるタンチョウやオオヒシクイ、マガンといった渡り鳥など数多くの種類を観察できる。海鳥の楽園、天売島に集う鳥たちも必見だ。

① タンチョウ
サロベツ原野

10年ほど前からサロベツ原野周辺でタンチョウが確認されている。秋には湿原の奥から牧草畑に出てくるようで、その姿を見られる確率が上がる。白い体に眼先から喉、首、そして尾が黒く、頭頂が赤いのが特徴。夏鳥。

①タンチョウ

② ウトウ
天売島周辺

天売島は世界最大の繁殖地でその数40万つがい、およそ80万羽といわれる。5月末から7月にかけ、ヒナに魚を持ち帰る帰巣シーンが日没後に見られる。ピーク時には夕闇に鳥のシルエットが天空を覆い尽くして圧巻だ。夏鳥。

②ウトウ
撮影／寺沢孝毅

③ ケイマフリ
天売島周辺

全身が黒で、目の周りの白と赤い足が印象的な海鳥で、500羽以上が生息する天売島は国内最大の繁殖地だ。主に北海道沿岸、オホーツク海沿岸に分布し、世界的にも希少。断崖直下の海を駆け回る姿は躍動的で美しい。夏鳥。

③ケイマフリ
撮影／寺沢孝毅

④ ウミガラス（オロロン鳥）
天売島周辺

天売島が国内唯一の繁殖地で、オロロン鳥の愛称は鳴き声からついた。10羽台まで減って絶滅に瀕したが、デコイ（鳥模型）や鳴き声による誘引作戦で個体数は回復傾向にあり、毎年ヒナの巣立ちが確認されている。夏鳥。

④ウミガラス
撮影／寺沢孝毅

⑤ クマゲラ
朱鞠内湖周辺

朱鞠内湖周辺には、キツツキの中で最大種のクマゲラが生息している。全身真っ黒で頭頂だけが赤く目立つ。ドラミングのリズムも「ガッガッガッ」とゆっくりめで音も低く大きい。留鳥。

⑤クマゲラ

⑥ フクロウ
るもい地域全域

森の哲学者と形容されることもあるフクロウ。白っぽい灰色の体で樹木のウロでじっとしている姿はたまらなくかわいい。意外と人家に近い林でも観られる。太い樹のウロを探してみると、逢えるチャンスが広がる。留鳥。

⑥フクロウ

⑦ オジロワシ
るもい地域全域

オオワシ同様冬季に北から渡ってくる大きなワシだ。ただし、道内ではそのまま留まっている個体もたまに観察できる。体は褐色だが、その名の通り尾が白いのが特徴だ。魚を食べるため海岸線や河畔で見られ、シカやアザラシの死骸を貪る姿も珍しくない。特に遠別川河口や初山別村で観察できる。冬鳥。

⑦オジロワシ

⑧ オオワシ
るもい地域全域

冬季、ロシア方面から渡ってきて道内で越冬する。名前のとおりとても大きなワシで、遠目にもその迫力は伝わる。海岸線や大きな川の河畔でその姿が見られ、特に遠別川河口で観察できる。全身が黒く、羽の前方が白く、また尾と脚も白い。嘴が太くて黄色いのも特徴だ。鋭い眼光はクールそのもの。冬鳥。

⑧オオワシ

⑨ オオハクチョウ
るもい地域全域

春と秋に止水域や河川下流域で群れている姿が見られる。特に苫前町の古丹別川河口に多い。大柄でとても優雅な鳥だ。「コォーコォー」と甲高く響くその鳴き声は、一度聞くと忘れることはないだろう。旅鳥。

⑨オオハクチョウ

⑩ カワセミ
るもい地域全域

晩春から盛夏、川岸に翡翠に輝く閃光。その正体はカワセミだ。ヤマメやウグイを電光石火の早業で仕留める。一度眼にするとその美しさが忘れられない。夏鳥。

⑩カワセミ

Rumoi Area × Animals Journey
いきものルート

豊かな自然に抱かれた北の大地に生きる命

るもい地域ではエゾシカやキタキツネなど道内ではおなじみの顔ぶれに出会えるが、遠別町のマスコットにもなっているエゾモモンガは珍しい存在。家畜まで含めれば、羽幌町焼尻島の名産、サフォーク種の羊といった生き物も。

⑪ エゾモモンガ
遠別町富士見ヶ丘公園周辺

民家周辺の林を住処にしているが、彼らは夜行性なためになかなか目にすることができない。それでも巣穴を見つけて観察していると、日中でもその姿を見せてくれることがある。

⑪エゾモモンガ

⑫ 羊
羽幌町焼尻

焼尻島にはめん羊牧場があり、真っ黒な顔に白い体のサフォーク種に出会える。どことなくひょうきんな表情で、草原をぴょんぴょんと小走りする姿が愛らしい。

⑫羊

⑬ 三毛別羆事件復元地
苫前町三渓

ベアロードを進んだ先の鬱蒼とした沢谷にあり、巨大なヒグマの像に圧倒される。大正初期、実際に起きたヒグマによる襲撃事件で2日間で10人が殺傷された。その悲話を通じて不屈の開拓者魂を後世に残そうと復元された。（P25にも記載あり）

⑬三毛別羆事件復元地
開館期間／5月中旬～10月下旬

⑭ エゾヒメギフチョウ
増毛町雄冬岬展望台

早春、雄冬地区の高台にある岬展望台周辺で姿を見ることができる。カタクリの花にとまるその姿は、紫と黄色のコントラストが目映く美しい。

⑭エゾヒメギフチョウ

⑮ サケ
るもい地域全域

北海道の歴史はサケと共に始まったと言っても過言ではない。捨てる部分がなく全て食せ、魚皮も利用でき、大変ありがたい存在だった。大海原を数年回遊した後、生まれ故郷の川に戻り産卵し天寿を全うする一生もダイナミックで感動的。遡上は10月がピークで暑寒別川、信砂川で多く見られる。

⑮サケ

⑯ エゾシカ
るもい地域全域

⑯エゾシカ

るもい地域の海岸線では、北に行くほど多く見られる。ドライブ中に道路に飛び出してくることもあるので、注意が必要。

⑰ エゾユキウサギ
るもい地域全域

雪の上に細長いケンケンバーの足跡があれば、それはウサギのもの。普段は夜行性だが、繁殖期を迎える春、草原などでは日中でも出会える。

⑰エゾユキウサギ

⑱ エゾタヌキ
るもい地域全域

⑱エゾタヌキ

ずんぐりとした体躯で顔が黒く、とても愛嬌ある表情のエゾタヌキ。でもそれは寒い季節の姿で、夏にはいきなりスリムに変身する。

⑲ エゾリス
るもい地域全域

⑲エゾリス

樹上を軽やかに走り抜けるのは、耳の毛が長いエゾリス。意外とヒトの生活の場の近くでその姿が確認できる、とてもかわいい生き物だ。

⑳ キタキツネ
るもい地域全域

⑳キタキツネ

ヒグマと並び北海道の動物代表とも言えるキタキツネ。もちろんるもい地域でも、陽気な彼らには比較的出会いやすい。

Rumoi Area × Animals Journey
探鳥・自然ツアールート

大自然といきものの息遣いを五感で感じ取る

るもい地域には、大自然が残っていて、海鳥をはじめとする動物が多数生息する。ここでは、地元の専門家や漁師たちのガイドによるバードウォッチングを主としたアクティビティや、大自然を楽しむプログラムを紹介する。

21 北海道海鳥センター
羽幌町北6条1

日本で唯一の海鳥専門施設で、天売島を中心とした海鳥類の調査・研究、ウミガラスの保護増殖事業を行っている。館内では海鳥に関する展示があり、自然観察をするには欠かせない情報を発信し続けている。不定期で各種イベントを行っていて、「のんびり自然観察会」や、自然を学ぶ「はぼろサイエンスカフェ」などが行われている。

㉑北海道海鳥センター

開館時間／9:00〜17:00（4〜10月）、9:00〜16:00（11〜3月）休館日／月曜、祝日の翌日、年末年始　入館料／無料、申込み・問い合せ先／0164-69-2080

22 海の宇宙館
羽幌町天売弁天40

天売島の海鳥の写真を中心にした展示がある。「とびっきり野鳥講座」など写真家の寺沢孝毅氏などによるエコ・ツアーも開催。喫茶コーナーやオリジナルグッズ販売も。

開館期間／4月末〜9月末
開館時間／9時〜17時
申込み・問い合せ先／ネイチャーライヴ
TEL／01648-3-9001

23 ウトウナイトガイド
羽幌町天売弁天40

見る者を圧倒し続ける夕刻のウトウの帰巣。暗くなるにつれ数が増し、羽音の激しさはものすごい迫力。地球にここだけの鳥の群飛に立ち会える。19時に宿発し、赤岩展望台に20時頃まで滞在し宿に帰着する。事前予約が必要で、申し込みは宿から。ウトウミニブックつき。

申込み・問い合せ先／ネイチャーライヴ
TEL／01648-3-9001
ガイド料金／大人1500円（税込）、小児半額。
※ご案内はウトウの繁殖期間中の概ね7月いっぱいまでとなります。内容、価格は変更になる場合があります

24 海鳥繁殖地ガイドツアー
羽幌町天売弁天40

お客様の天売島到着に合わせて港から、または宿泊施設から天売島を陸路一周して海鳥等の自然解説が行われる。繁殖期には望遠鏡でウミガラス、ケイマフリ、ウミウなどを観察。所要時間約90分。事前予約が必要。海鳥ミニブックつき。

申込み・問い合せ先／ネイチャーライヴ
TEL／01648-3-9001
ガイド料金／大人1500円（税込）、小児半額。

25 天売島漁船クルーズ
羽幌町天売前浜

天売島の海を知り尽くした地元漁師たちの案内で島を一周する90分のクルージング。海上から見る島の絶景を楽しむことができる。

実施期間／5〜9月
申込み・問い合せ先／民宿栄丸
TEL／090-8425-9859

26 天売島海鳥ボートウォッチング
羽幌町天売弁天40

天売島が一大繁殖地となっているウトウをはじめ、波間に浮かぶウミウ、ヒメウ、ウミガラスなどを海から約90分間観察できる。2名より運行。

実施期間／5〜7月頃
運行時間／6時〜、8時〜（1日2回）
申込み・問い合せ先／ネイチャーライヴ
TEL／01648-3-9001

天売・焼尻の自然探索拠点に格安で宿泊可能なゲストハウス

タオルや寝巻き、歯ブラシ等のアメニティ類のサービスを省いた格安宿がゲストハウス。そのほとんどが相部屋で素泊まりとなっていて、海外ではバックパッカー（リュック1つで低予算の個人旅行をする人）の宿として認知されている。天売・焼尻の両島に、平成29（2017）年にゲストハウスが誕生。野鳥観察の拠点に心強い味方が誕生した。

27 ゲストハウス天宇礼（てうれ）
羽幌町天売弁天96

空き家となっていた古民家をリノベーションして開業したゲストハウス。男女混合の相部屋と、女性専用和室がある。食事は共同の炊事場で自炊可能。隣接している無料休憩所は宿泊者以外も利用できる。天売島のフットパス（遊歩道）のガイドツアー約90分を千五百円で行っている。

問い合わせ／090-1097-0500
最大宿泊人数／13人
チェックイン／15:00〜17:00
チェックアウト／〜9:00

28 焼尻ゲストハウスやすんでけ
羽幌町焼尻東浜160

男女混合相部屋と女性専用相部屋と個室がある。食事はオーナーや他の宿泊者と共同で自炊して食べる。夕食のみ実費。有料でバーベキューセットの貸し出しもある。また、主に土曜日開催で夕食にバーベキューがついたバードウォッチング入門等の自然観察ツアー等を開催している。

問い合わせ先／050-5319-8358
最大宿泊人数／13人
チェックイン／15:30〜17:00
チェックアウト／〜10:30

Rumoi Area × Animals Journey
愛のルート

「愛のパスポート」で大自然からパワーを受け取る

ウミガラスやケイマフリ、ウトウなど8種類100万羽の海鳥が繁殖する天売島は、命あるものの愛のパワーを増幅させるパワースポットだ。地元特産品の抽選つきのスタンプラリー帳「愛のパスポート」を入手し、『愛』のスポットを巡る旅も良いだろう。

めざせ！愛のパワースポット天売島

るもいエリアには、苫前町の「夫婦愛の鐘」といった「愛」にまつわるスポットが多数ある。それらを経由し、愛のパワースポット・天売島を目指そう。世界最大の40万ペアが繁殖するウトウや、求愛が活発で美しいケイマフリは、つがいが生涯連れ添うほど強い絆で結ばれ、愛のパワーはケタ違いだ。

天売島への出発点となる羽幌フェリーターミナルの観光案内所で「愛のパスポート」を受け取り（手数料300円）、愛の象徴・ケイマフリのステッカーをもらってパワースポット巡りを開始。天売島・焼尻島のスポット（立ち寄り・設問）をクリアするごとにスタンプを押そう。スタンプのある場所はパスポートで確認を。クリアが多いほどパワーをたっぷり受け取ることができる。

愛のパスポート

29 両島に上陸 ★
天売島・焼尻島

㉙天売島・焼尻島

夢の浮き島夫婦島といわれる天売島・焼尻島の両方に上陸する。

30 観音岬 ★★
天売島

㉚観音岬

天売島の観音岬でハート形の地形をバックに記念写真を撮る。

31 赤岩・屏風岩 ★★★★
天売島

赤岩から屏風岩にかけての一帯は、天売島でも最大の海鳥の繁殖が見られるスポット。ここで子育てをする8種類のうち、半数の4種類の海鳥を観察しよう。

32 ケイマフリの口中 ★★★★★
天売島

㉜ケイマフリの口中

愛情表現が熱いケイマフリの赤い口の中を見る。（撮影/寺沢孝毅）

33 歓喜の木 ★★★
焼尻島

㉝歓喜の木

焼尻島の原生林内に生育する「歓喜の木」の写真を撮る。

34 夫婦愛の鐘
苫前町上平

苫前町の「夫婦愛の鐘」のハート形のなかに天売・焼尻島を入れて眺めよう。

35 臼谷漁港
小平町臼谷

小平町臼谷漁港のお魚街道浜小屋で、二枚貝（両想い）のホタテを試食し縁起かつぎ。

36 JR留萌駅
留萌市船場町2丁目

JR留萌駅で子宝の象徴といわれるかずの子オブジェにタッチ。

37 千望台
留萌市礼受町

留萌市の千望台で、千の望みや誓いを立てよう。天売島・焼尻島の夫婦島が望めればなおいい。

㊲千望台

38 厚田公園展望台
石狩市厚田区厚田

展望台の「誓いの鐘」を鳴らそう。固く結ばれることを願い、持参した南京錠をフェンスに取り付けられればなおいい。

★が多いほどクリア難度が高くなる。でも、心配ご無用。以下を利用すれば心強いサポートが受けられる！

焼尻島／観光ハイヤー
TEL.01648-2-3513
01648-2-3311
ボートウォッチング
TEL.090-4876-9001